※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	２年後期
使用教科書	古典探究「精選　古典探究」（大修館書店）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・ 聞く能力」や、意思を伝えるための「書く能力」を身につけましょう。
・上記の能力を身につけるために、自分の意見を発表したり、周りの人と協働して課題を解決するための話し合いなどをしたりするなど、アクティブな活動を授業の中で行います。積極的に参加しましょう。
・語彙力を高めるために、意味がわからない言葉と出会ったときは、辞書を引いて調べることを心がけましょう。
・予習にはしっかりと取り組み、授業の後には内容を振り返って復習をしましょう。
・提出物の期限は守りましょう。
・小テストや定期考査は学習計画を立てて臨みましょう。

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
・生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
後期	話の展開を捉え、登場人物の心情を理解する ［教材］ 十訓抄 ●大江山いくのの道	(a)先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めることができている。 (b)［読］説話という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。 (c)教材の内容に関心を持っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	歌物語の表現の特徴を理解し、物語を解釈する。 ［教材］ 大和物語 ●をばすて	(a)語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 (b)［読］歌物語という文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えることができている。 (c)教材の内容に関心を持っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	作者の考え方や自然観に触れる。 ［教材］ 枕草子 ●中納言参りたまひて	(a)随想という文章の種類とその特徴について理解を深めることができている。 (b)［読］読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価すること。 (c)学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	多様な人間関係と物語の展開を読み取る。 ［教材］ 源氏物語 ●光源氏の誕生 ●若紫との出会い	(a)文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めることができている。 (b)［読］「源氏物語」の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 (c)生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	歴史的な事実と比較しながら、物語を解釈する。 ［教材］ 大鏡 ●肝だめし	(a)古典を読むために必要な文語のきまりについて理解を深めることができている。 (b)［読］多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりすることができている。 (c)言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート
	言動の記録をたどり、人物像を捉える。 ［教材］ ●史記 鴻門之会 四面楚歌	(a) 「史記」に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 (b) ［読］「史記」という文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えることができている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		(c)学習の見通しをもって言葉がもつ価値への認識を深めようとしている。			
	景情一致の技法を理解する ［教材］ 漢詩 ●贈別 ●咸陽城東楼 ●石壕吏	(a)近体詩に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができている。 (b)［読］近体詩の読解を通して、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価することができている。 (c) 教材の内容に関心を持っている。	ワークシート 定期考査	ワークシート ノート 定期考査	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間